



畜産総合センターようじん通信

平成30年12月

◇譲渡可能頭数について

W♀

生まれ月	頭数
4月	15
5月	27
6月	17
7月	11
8月	23

D♂

生まれ月	精液検査 済み(頭)	精液検査 未実施(頭)
2月	3	1
3月	2	1
4月	5	0
5月	5	3
6月	0	15

12月1日時点の譲渡可能頭数は上記のとおりです。他の品種もご用意できます。
現在、譲渡待ちはなく、希望順に譲渡しておりますので、早めにご連絡いただければ幸いです。

特にW♀については、アイリスW3の3～5産目の平均産子数が13頭(最大18頭)に達するなど、生産も好調です。アイリスW2において課題だった外陰部の大きさも改善されておりますので、ぜひ一度お試しください。

☆岐阜県における2例目の豚コレラ発生により、再び農家選畜を中止ししています。
 利用農家の皆様におかれましては、豚運搬車両の消毒等、引続きご協力をお願い致します。

○今年もありがとうございました！！

愛知県内でのPEDの発生によりH26から譲渡数が減少していましたが、県内での流行が落ち着いたH28以降、**譲渡頭数は毎年10%以上ずつ伸びており**、利用農家の皆さまのご愛顧に大変感謝しております。現状に慢心せず、今後も生産を強化し、質のよい種豚を提供できるよう丁寧な飼養管理を行なっていきます。

また、サービスの向上にも努めていく所存ですので、皆さまからもご要望、譲渡豚の飼養状況や経営の今後の展望等、お聞かせいただければ幸いです。



利用農家のみなさまの発展にできる限り貢献していきたいと考えております。今後ともお引き立ての程、よろしくお願ひ致します。



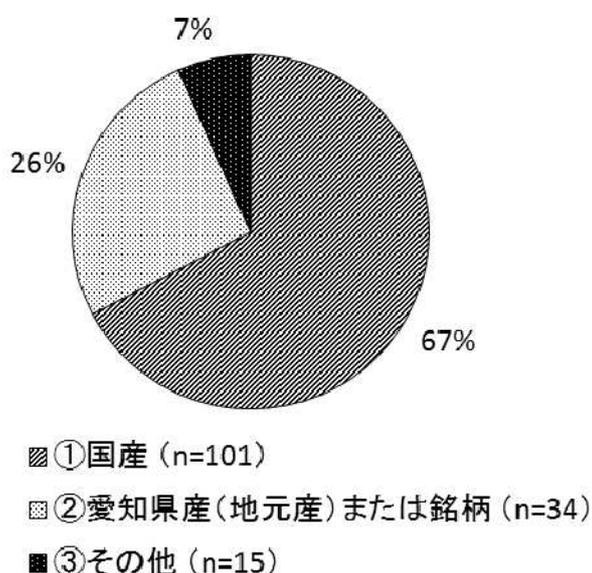
○国産豚肉への消費者意識について

近年、物流のグローバル化が進展し、海外でも輸出向けに日本人の好みに合わせた豚肉生産に取り組まれるなど、皆さまにおかれましても、輸入豚肉に対する消費者の動向などに高い関心を寄せていることと存じます。今回は、豚肉購入に関わる各種調査結果について紹介します。

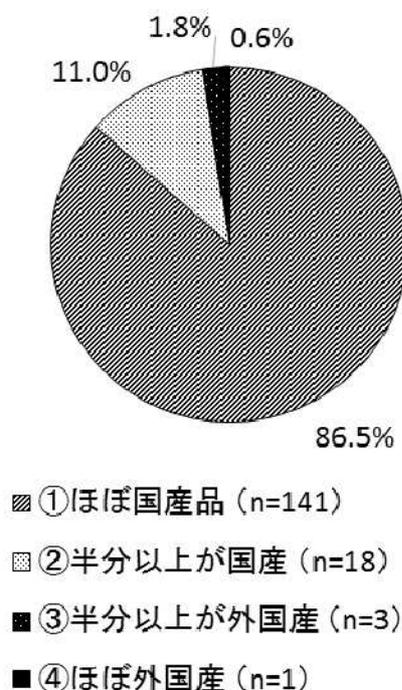
H28にJA あいち経済連により実施された調査（下図）によれば、約7割の方が国産であることを意識して豚肉を購入しており、さらに約3割の方が愛知県産（地元産）であること、または銘柄を重視していました。

また、実際に国産の豚肉を選ぶ頻度については、ほぼ国産品、と回答した方が約9割でした。

豚肉を買うとき気にすること



国産豚肉を選ぶ頻度



H29に（公社）日本食肉消費総合センターにより実施された「食肉に関する消費者意識調査」においても、半数以上の方が「国産であること」を重視しており、国産豚肉に対する消費者の期待と信頼が伺えます。

同様に、同調査では約3割の人が「産地・銘柄等がしっかり表示されていること」を重視すると回答しており、産地等への関心が伺えます。畜産関係者の間では、県内食肉事業者からの愛知県産を求める声も、しばしば聞かれているようです。

輸入品の質が向上していると言われる中でも、系統豚が皆さまの豚肉販売の武器となれるよう、国産豚肉に対する消費者の期待を裏切らない肉質を実現することや、種豚の独自開発から豚肉流通まで、愛知県内の各関係者と連携して行うなど、引続き農業総合試験場を始めとする県関係機関と共に努力して参ります。